

健康・福祉・医療分野

健康・福祉・医療分野

市民生活分野

VI 1 豊かな高齢社会の創出 高齢者を支える仕組みづくり

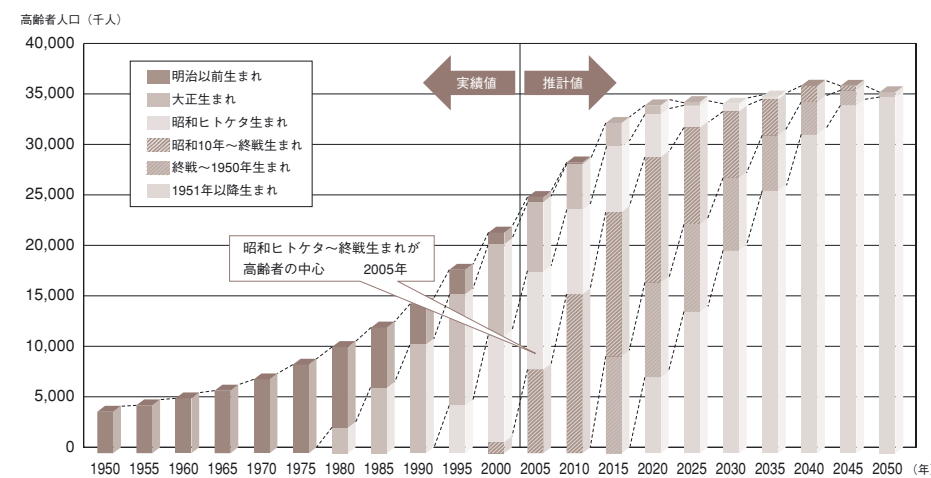
現状と課題

一人暮らし世帯や認知症高齢者等が増え、本格的な高齢社会を迎える中で、今後は高齢者が尊厳を持って暮らせる社会を実現することが重要です。高齢になるに従って体力や意欲の低下から閉じこもりがちになり、やがて介護が必要な状況になってし

まうことから、介護予防に向けた取り組みを進めるとともに、介護が必要になっても自らの意志により住み慣れた地域でその人らしく暮らせる体制の確立が求められています。



■ 世代別に見た高齢者人口の推移



※資料：2000年までは総務省統計局「国勢調査」、2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」

基本方針

高齢者が健康でいきいきとした生活を送ることができるよう介護予防や健康づくりを推進するとともに、近隣の人々と心を通

わせ、お互いに連携を図るようなみんなが支え合う健康と福祉のまちづくりを実現します。

事業計画 (主な事業とその内容)

〔地域ケアのための体制づくり〕

金沢ボランティア大学校[※]やボランティアセンター[※]等が連携と役割分担を図りながらボランティアを養成し、市民のニーズに対応したコーディネート及び情報提供を行います。

〔地域包括支援センター[※]の機能拡充〕

地域包括支援センターの機能を充実させ、保健医療の向上及び福祉の増進を図るための総合的支援や高齢者が地域で自立した日常生活を営むための継続的支援を実施します。

〔介護予防の推進〕

筋力トレーニングやバランス訓練等による運動機能の維持・向上、地域支援事業による介護予防等を通じて、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立します。

〔在宅サービスの拡充〕

高齢者が介護状態になっても安心して暮らし続けていくために在宅サービスを拡充し、在宅での介護支援を行います。

〔高齢者の防災対応の強化〕

地域に配布した福祉防災台帳の整備を進め、災害時に援護が必要となる高齢者の把握に努めるとともに、地域の自主防災組織との連携を図ります。

〔社会福祉協議会等の充実〕

地区の社会福祉協議会及び民生委員児童委員協議会への支援と資質向上に向けた研修の強化、各地区間の情報交換の場づくり、巡回による各地区の実情把握・指導を行います。

市民参加と協働

- ・ ボランティアによる介護予防や介護支援

※金沢ボランティア大学校
ボランティアをするための基本や幅広い視野を身につけて、継続的にボランティア活動を実践できる人を養成しようと、全国の自治体で初めて設立されたもの。

※ボランティアセンター
福祉ボランティアの養成・登録・情報提供やその活動の支援・ネットワーク化を行う組織。現在、金沢市社会福祉協議会内に設置。

※地域包括支援センター
介護予防事業のケアマネジメント、高齢者や家族に対する総合的な相談・支援、虐待の防止・発見等の権利擁護事業等を実施し、地域住民の心身の健康保持と生活安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上・福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設。

健康・福祉・医療分野

健康・福祉・医療分野

市民生活分野

VI 1 豊かな高齢社会の創出 高齢者の生きがい創出

現状と課題

高齢者教育の一環である「高砂大学・大学院」は人気が高く、同大学を卒業した同窓生で結成された自主グループ活動も活発に行われています。こうした活動は高齢者の生きがいづくりに結びつくことから引き続き推進することが望まれますが、団塊の世代^{*}の退職に伴って、これらの活動の需

要がさらに高まることが予想されます。また、平成22（2010）年にはわが国の3人に1人が60歳以上になると予想され、働く意欲のある高齢者が急増することから、このような高齢者の就業機会を早急に確保する必要があります。

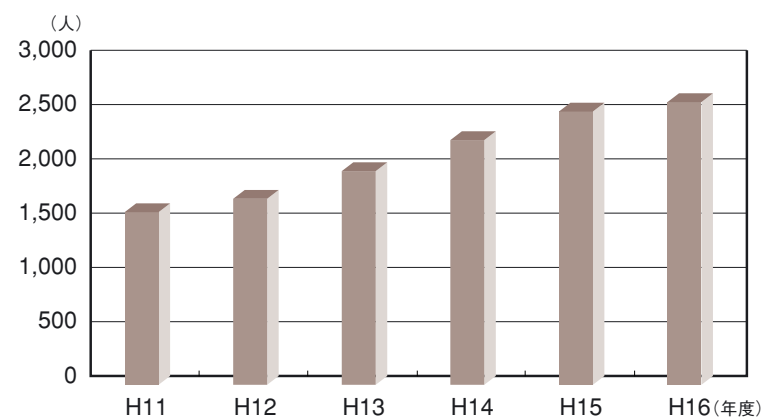


地域サロン



シルバー人材センター会員による遺跡発掘作業

■金沢市シルバー人材センター会員数の推移



^{*}団塊の世代
昭和22（1947）年から昭和24（1949）年生まれの人々で、平成12（2000）年国勢調査では688万人と推計。

基本方針

高齢者の生きがい創出のための学習機会を積極的に提供していきます。また、働く意欲と能力のある高齢者の就労の場を確保

し、高齢者自らが社会の担い手として活躍できる場を創出していきます。

事業計画（主な事業とその内容）

〔高砂大学・同大学院の運営〕

今後、65歳以上人口が急増することから、受益と負担の関係に配慮しながら、高砂大学・同大学院を運営していきます。

〔シルバー人材センターの充実〕

会員の大幅な増加が予想されることから、地域に密着した新しい分野における受注拡大策を展開していきます。

〔職業紹介事業の強化・充実〕

団塊の世代の退職による求職登録者の急増等の情勢を見極めながら求人開拓を行い、高齢者の雇用確保に努めます。

〔地域サロンの充実〕

住み慣れた地域で高齢者の生きがいづくりを支援するため地域サロンをすべての地区で開設し、内容の充実を図ります。

〔常用雇用の促進〕

雇用情勢に合わせて高年齢者雇用奨励金をはじめとする奨励金制度を見直すとともに、働く意欲のある高齢者の雇用を促進するため、「（仮称）シルバーカフェ」の開設を検討します。

市民参加と協働

- ・市民の相互学習による高砂大学・大学院等の運営
- ・高齢者雇用の促進に向けた企業の協力